



## 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ベリテ

コード番号 9904 URL <https://www.verite.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO

(氏名) ジャベリ・アルパン・キルティクマル

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO兼管理本部長

(氏名) 米畑 博文

TEL 045-415-8821

定時株主総会開催予定日 2021年6月25日

配当支払開始予定日

2021年5月27日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	7,545	△4.2	817	33.7	805	34.5	583	25.6
2020年3月期	7,873	△6.0	611	3.8	598	5.4	464	△13.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	21.50	—	10.8	10.0	10.8
2020年3月期	17.09	—	8.8	7.4	7.8

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	8,060	5,409	67.1	199.37
2020年3月期	7,837	5,240	66.9	193.12

(参考) 自己資本 2021年3月期 5,409百万円 2020年3月期 5,240百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	857	△157	△423	2,481
2020年3月期	426	△72	△568	2,204

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配 当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	9.97	0.00	9.97	0.00	19.94	542	116.7	10.2
2021年3月期	0.00	0.00	15.56	15.56	31.12	847	144.7	15.9
2022年3月期(予想)	20.00	0.00	20.00	0.00	40.00		259.1	

### 3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,095	—	188	—	180	—	159	—	5.86
通期	7,167	—	726	—	710	—	418	—	15.44

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### ※ 注記事項

##### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

##### (2) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	27,230,825 株	2020年3月期	27,230,825 株
② 期末自己株式数	2021年3月期	96,252 株	2020年3月期	96,172 株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	27,134,607 株	2020年3月期	27,196,430 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1.経営成績等の概況 (4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載いたします。(https://www.verite.jp/aboutus/irinfo.html)

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの状況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	7
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(持分法損益等) .....	10
(セグメント情報) .....	10
(1株当たり情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大とそれに対応する緊急事態宣言の発出により景気が急速に悪化し、極めて厳しい状況で推移しました。また2021年1月には再度緊急事態宣言が発出されるなど、新型コロナウイルス感染症の収束時期の見通しが未だに立っておらず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境下において、当社としましては、コーポレート・ビジョンである「Diversity with Brilliance」を引き続き忠実に推進し、ジュエリーチェーンのパイオニアとしての豊富な実績を基に、お客様にご満足いただける質の高い接客技術の向上、顧客ニーズにあった魅力的な商品開発力の強化、粗利率の改善などへの積極的な取組みにより、いかなる環境の変化にも対応できる強固な事業基盤の構築に努めております。

以上の結果、当事業年度の売上高は7,545百万円(前年同期比4.2%減)、営業利益は817百万円(前年同期比33.7%増)、経常利益805百万円(前年同期比34.5%増)、当期純利益583百万円(前年同期比25.6%増)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当事業年度末における総資産は、8,060百万円となり、前事業年度末と比べ222百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加によるものであります。

#### (負債)

当事業年度末における負債合計は、2,650百万円となり、前事業年度末と比べ53百万円増加いたしました。これは主に、買掛金の増加によるものであります。

#### (純資産)

当事業年度末における純資産合計は、5,409百万円となり、前事業年度末と比べ169百万円増加いたしました。これは主に、当期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は67.1%(前事業年度末は66.9%)となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの状況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末と比べ276百万円増加し、2,481百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における営業活動による資金の増加は857百万円(前期は426百万円の増加)となりました。これは主に、税引前当期純利益の計上によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における投資活動による資金の減少は157百万円(前期は72百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出75百万円並びに無形固定資産の取得による支出71百万円があったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における財務活動による資金の減少は423百万円(前期は568百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払いによる支出423百万円があったことによるものであります。

なお、当社のキャッシュ・フロー指標は、次のとおりであります。

	2021年3月期	2020年3月期	2019年3月期	2018年3月期
自己資本比率	67.1%	66.9%	64.5%	66.1%
時価ベースの自己資本比率	130.3%	93.5%	130.6%	100.0%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	1.3	2.6	1.9	1.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ	49.6	21.8	23.5	34.5

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済普通株式総数（自己株式控除後）により算出しております。

※キャッシュ・フローはキャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

#### (4) 今後の見通し

次期の経営環境におきましては、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、海外の政治経済の不確実性や将来不安を背景とした節約志向の高まりなど、先行きは不透明な状況が続くことが予想されます。直近では日本国内でもワクチンの接種が始まるなど明るい兆しが見られるものの、引き続き個人消費の低迷が長期化する懸念が強く残っており、当社を取り巻く経営環境は予断を許さない状況が続くものと予想されます。

次期店舗数は、ペリテ78店舗（7店舗増）、マハラジャ・ダイヤモンド3店舗（1店舗増）、MiMiKaZaRi 1店舗、Velicia15店舗（1店舗増）を予定しております。

以上を踏まえ、翌事業年度（2022年3月期）の業績見通しにつきましては、売上高7,167百万円、売上高総利益率69.7%、販売管理費比率59.5%を予定し、営業利益726百万円、経常利益710百万円、当期純利益418百万円を予想しております。

上記の業績予想は、2022年3月期より収益認識に関する会計基準を適用することとなったため、収益認識に関する会計基準に基づき予測値を算出しております。このため、当該基準適用前の2021年3月期実績値に対する増減は記載しておりません。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況の変化等により、大きな変動が見込まれる場合は、速やかに業績予想の修正を公表いたします。

#### (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつとして位置づけており、原則として、第1四半期末日、及び第3四半期末日を基準日とする年2回の配当を実施しております。

当期は、安定的な配当の維持並びに将来の事業展開に備えた内部留保の充実、財務体質の強化等の必要性を考慮しつつ決定する方針のもと、1株当たり31.12円の配当を行いました。

次期における1株当たりの年間配当金は、事業継続に最低限必要な手元資金及び必要な運転資本の維持を阻害しない範囲で、積極的に配当を行うことを基本方針とし、40.00円を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,215	2,492
受取手形	403	278
売掛金	386	480
商品	3,059	2,958
貯蔵品	108	105
前払費用	20	22
未収入金	53	49
預け金	235	342
その他	0	0
貸倒引当金	△0	△0
<b>流動資産合計</b>	<b>6,483</b>	<b>6,730</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	437	439
減価償却累計額	△250	△262
建物(純額)	187	177
工具、器具及び備品	490	483
減価償却累計額	△335	△355
工具、器具及び備品(純額)	154	128
土地	97	97
<b>有形固定資産合計</b>	<b>439</b>	<b>403</b>
<b>無形固定資産</b>		
商標権	0	—
ソフトウェア	75	62
<b>無形固定資産合計</b>	<b>75</b>	<b>62</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	19	28
出資金	0	0
破産更生債権等	835	1
長期前払費用	12	9
敷金・差入保証金	583	596
繰延税金資産	218	223
その他	5	5
貸倒引当金	△835	△1
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>839</b>	<b>863</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>1,354</b>	<b>1,329</b>
<b>資産合計</b>	<b>7,837</b>	<b>8,060</b>

(単位:百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	511	486
買掛金	362	416
短期借入金	1,100	1,100
未払金	271	212
未払費用	123	148
未払配当金	7	7
未払法人税等	40	41
前受金	50	72
預り金	9	9
返品調整引当金	1	1
ポイント引当金	33	28
その他	43	93
流動負債合計	2,555	2,618
固定負債		
長期未払金	41	31
固定負債合計	41	31
負債合計	2,597	2,650
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金		
資本準備金	25	25
その他資本剰余金	4,678	4,678
資本剰余金合計	4,703	4,703
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	465	626
利益剰余金合計	465	626
自己株式	△25	△25
株主資本合計	5,242	5,404
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2	5
評価・換算差額等合計	△2	5
純資産合計	5,240	5,409
負債純資産合計	7,837	8,060

(2) 損益計算書

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	7,873	7,545
売上原価		
商品期首たな卸高	2,970	3,059
当期商品仕入高	3,314	3,034
合計	6,285	6,093
他勘定振替高	4	5
商品期末たな卸高	3,059	2,958
商品売上原価	3,221	3,129
売上総利益	4,652	4,415
返品調整引当金戻入額	1	0
差引売上総利益	4,654	4,415
販売費及び一般管理費	4,042	3,598
営業利益	611	817
営業外収益		
受取配当金	1	1
その他	7	4
営業外収益合計	8	5
営業外費用		
支払利息	6	6
手形売却損	3	2
支払手数料	8	8
その他	1	0
営業外費用合計	21	17
経常利益	598	805
特別利益		
助成金収入	—	106
特別利益合計	—	106
特別損失		
固定資産除却損	—	1
減損損失	14	—
臨時休業等関連損失	—	290
特別損失合計	14	291
税引前当期純利益	583	619
法人税、住民税及び事業税	40	41
法人税等調整額	78	△5
法人税等合計	118	36
当期純利益	464	583



(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余 金合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余 金合計		
当期首残高	100	25	4,678	4,703	543	543	△4	5,342
当期変動額								
剰余金の配当					△542	△542		△542
当期純利益					464	464		464
自己株式の取得							△21	△21
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	△77	△77	△21	△99
当期末残高	100	25	4,678	4,703	465	465	△25	5,242

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額等 合計	
当期首残高	3	3	5,346
当期変動額			
剰余金の配当			△542
当期純利益			464
自己株式の取得			△21
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△6	△6	△6
当期変動額合計	△6	△6	△105
当期末残高	△2	△2	5,240

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余 金合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余 金合計		
当期首残高	100	25	4,678	4,703	465	465	△25	5,242
当期変動額								
剰余金の配当					△422	△422		△422
当期純利益					583	583		583
自己株式の取得							△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	161	161	△0	161
当期末残高	100	25	4,678	4,703	626	626	△25	5,404

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額等 合計	
当期首残高	△2	△2	5,240
当期変動額			
剰余金の配当			△422
当期純利益			583
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	8	8	8
当期変動額合計	8	8	169
当期末残高	5	5	5,409

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	583	619
減価償却費	71	78
臨時休業等関連損失	—	290
減損損失	14	—
助成金収入	—	△106
固定資産除却損	—	1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△833
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△1	△0
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△1	△5
為替差損益 (△は益)	0	△0
支払手数料	8	8
支払利息	6	6
売上債権の増減額 (△は増加)	224	△3
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△88	100
仕入債務の増減額 (△は減少)	△212	28
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	—	833
その他	△107	72
小計	498	1,091
支払手数料の支払額	△6	△9
利息の支払額	△6	△6
法人税等の支払額	△54	△40
臨時休業等に関する支出額	—	△281
助成金の受取額	—	106
その他	△3	△2
営業活動によるキャッシュ・フロー	426	857
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△22	△22
定期預金の払戻による収入	22	22
有形固定資産の取得による支出	△68	△75
無形固定資産の取得による支出	—	△71
敷金・差入保証金の差入による支出	△23	△12
敷金・差入保証金の回収による収入	22	2
その他	△3	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△72	△157
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△543	△423
その他	△24	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△568	△423
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△213	276
現金及び現金同等物の期首残高	2,418	2,204
現金及び現金同等物の期末残高	2,204	2,481

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は宝飾事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1 株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	193.12円	199.37円
1株当たり当期純利益	17.09円	21.50円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益(百万円)	464	583
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(百万円)	464	583
期中平均株式数(千株)	27,196	27,134

(重要な後発事象)

該当事項はありません。